

2016年9月期 第1四半期

連結決算説明資料

(2015年10月-12月)

株式会社FPG

(code:7148)

東証1部



2016年1月

業績ハイライト	P3
レビュー	P4
トピックス	P5~6
タックス・リース・アレンジメント事業の状況	P8~9
タックス・リース・アレンジメント事業の出資金に含まれる手数料	P10
2016年9月期 第1四半期 損益計算書	P12
2016年9月期 第1四半期 貸借対照表	P13
2016年9月期 業績予想	P15
2016年9月期 配当予想	P16
タックス・リース・アレンジメント事業の継続的強化	P18
取扱商品・サービスの拡大（新規事業への進出）	P19
事業概略図 収益構造の多角化に向けた取組み	P20

業績の総括



◆ タックス・リース・アレンジメント事業が好調、大幅増収増益

全国的のさまざまな業種において優劣の二極化が進む中、業績好調な投資家(顧客)からの需要が強く推移し、事業承継目的によるニーズも増加した。

オペレーティング・リース事業の出資金販売額は、276.8億円(前年同期比21.7%増)に増加。

その結果、その他の事業を含めた売上高・利益は、前年同期に比べ、大幅な増収増益を達成した。

【億円】	2015年9月期 第1四半期	2016年9月期 第1四半期	増減	増減率	2016年9月期 通期予想 (修正)	通期予想 進捗率	2016年9月期 上期予想 (修正)	上期予想 進捗率
売上高	42.8	57.9	15.1	35.2%	182.7	31.7%	100.6	57.6%
営業利益	32.0	40.9	8.9	27.8%	121.3	33.7%	69.0	59.3%
経常利益	31.1	41.9	10.7	34.4%	123.8	33.8%	69.3	60.5%
親会社株主に 帰属する (四半期) 当期純利益	19.9	27.5	7.5	38.0%	79.1	34.8%	44.8	61.3%
オペレーティ ング・リース事業 組成金額	621.7	1,308.6	686.8	110.5%	3,600.0	36.4%	—	—
出資金 販売額	227.4	276.8	49.4	21.7%	1,010.0	27.4%	—	—

▶ 主なトピックス

11月	(~12月) 東京、大阪、名古屋、広島、福岡にて個人投資家向け説明会開催 (計6回)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信託契約代理業務開始 ・ 効率的な営業活動、企業経営を支援するITインフラ強化を企図し、情報システム部を創設 ・ 不動産小口運用商品 (広尾、青山) 完売 ・ 2015年9月期 期末配当実施 24.50円(年間) 連結配当性向 36.3%(年間) ・ 自己株式450万株取得

▶ トピックス - タックス・リース・アレンジメント事業

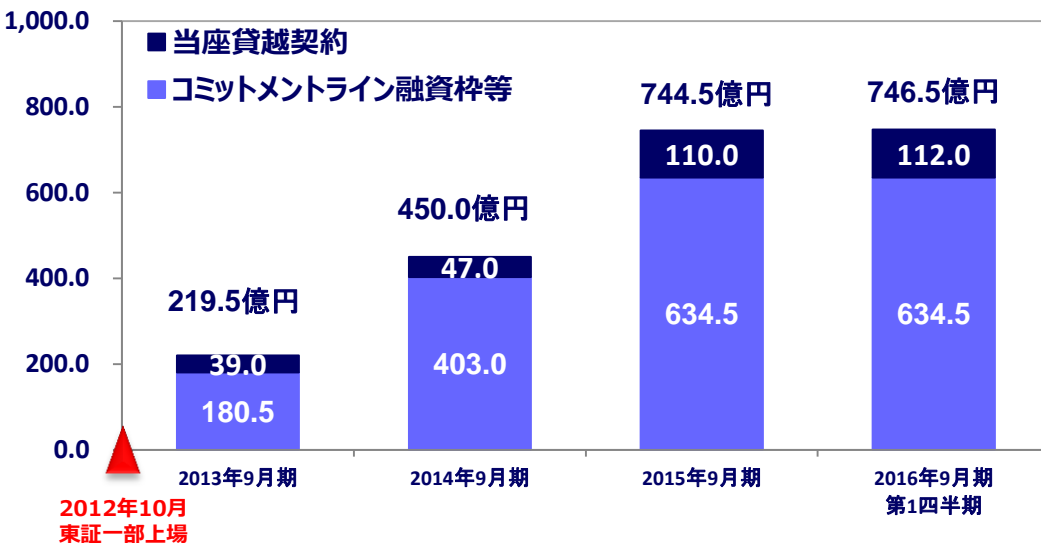
組成面

- ◆ 案件組成のサポートを行う海外関連会社の機能強化による組成能力の向上、新規賃借人の開拓
新規賃借人2社との間で航空機、コンテナのリース案件を組成
- ◆ 組成の拡大に対応した資金調達力の確保
資金調達枠は746.5億円まで拡大 (→P5「資金調達」参照)

販売面

- ◆ 販売ネットワークの拡充
当四半期に131会計事務所、1金融機関と提携 (→P6「販売ネットワークの拡大」参照)
- ◆ 営業力の更なる強化を図るため、営業部門の人員増強

資金調達枠は746.5億円と、引続き拡大傾向



東証一部上場前の資金調達枠は100億円に満たないレベルであったが、東証一部上場（2012年10月）により、金融機関からの信用力が飛躍的に向上。
また、東証一部上場前の取引銀行数は27行であったが、当四半期末には、58行へと拡大。

格付取得による資金調達手段の多様化・安定化

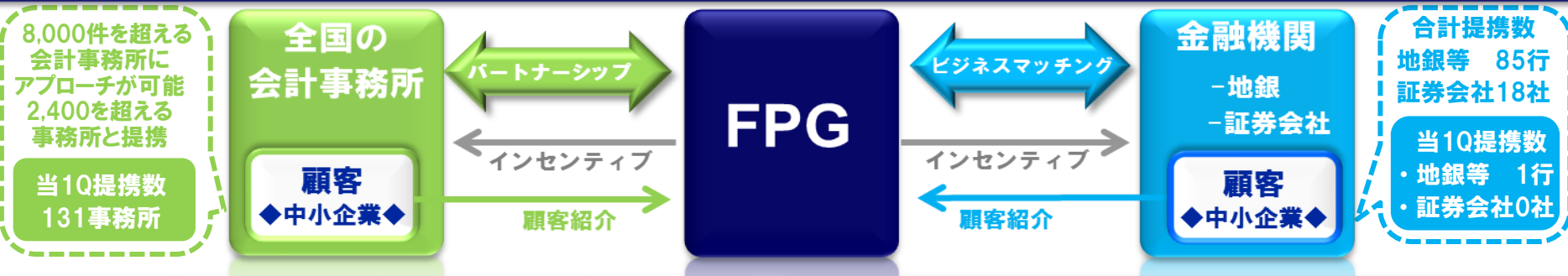
（株）日本格付研究所（JCR）より格付取得

長期発行体格付	短期発行体格付	国内CP格付 (コマーシャルペーパー)
BBB-	J-2	J-2 発行限度額50億円
CP発行残高 (2015年12月末日)		40億円

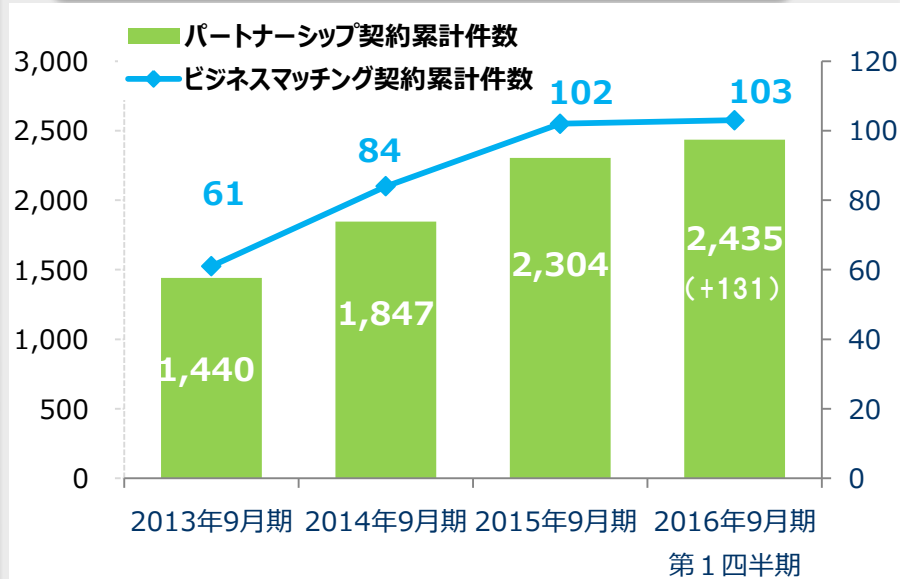
第三者機関から客観的な評価を得ることで、経営の透明性、財務の健全性を高めるとともに、資金調達手段の多様化・安定化を図る。

トピックス - 販売ネットワークの拡大

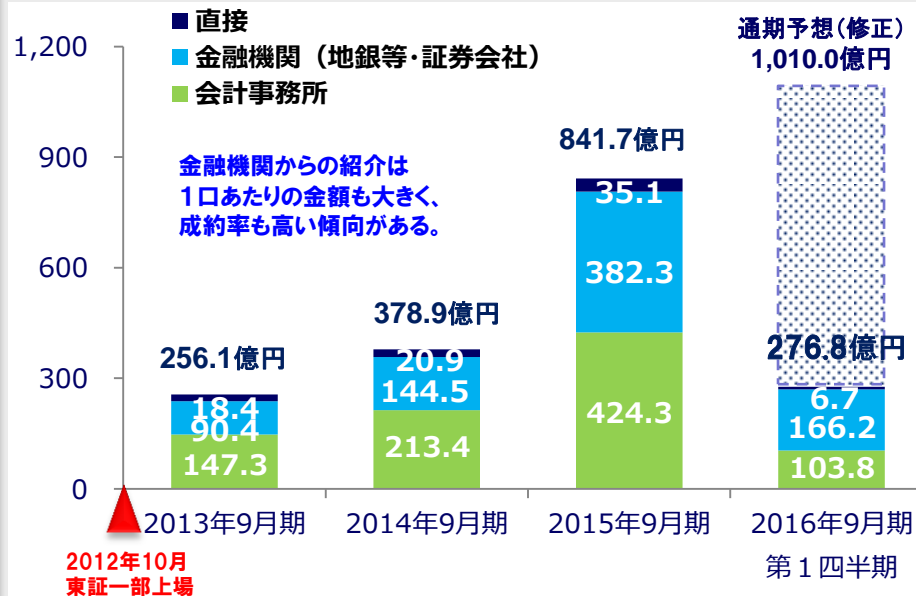
全国の会計事務所及び金融機関との提携拡大（前期末比 131事務所、地銀1行増）
証券会社、地銀を中心とした金融機関からの大口投資家（顧客）の紹介が増加



会計事務所とのパートナーシップ契約件数と
金融機関とのビジネスマッチング契約件数



ネットワーク別出資金販売額の推移



營業概況



■ タックス・リース・アレンジメント事業の状況

◆ 積極的な案件組成と、好調な販売環境により、業績が大幅伸張

組成面

案件組成のサポートを行う関連会社と連携を強化すると共に、組成担当部署の人員を増強。資金調達力の向上を背景に積極的な案件組成を行った結果、オペレーティング・リース事業組成金額は、前年同期比110.5%増の1,308.6億円となった。

販売面

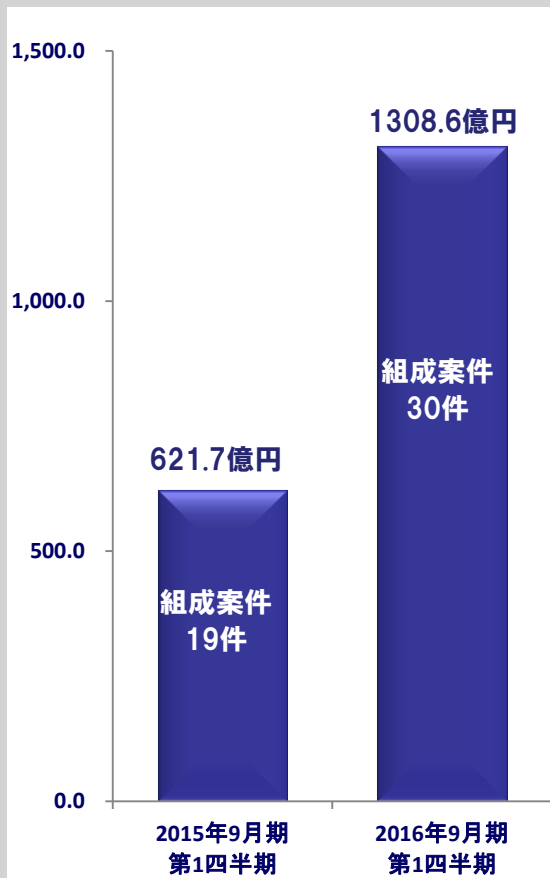
全国的にさまざまな業種において優劣の二極化が進む中、業績好調な投資家(顧客)からの需要が強く推移し、事業承継目的による大口投資ニーズも増加した。販売ネットワークの強化により、業績好調な投資家を確実に捕捉することにより、出資金販売額は前年同期比21.7%増の276.8億円となった。

(億円)	2015年9月期 第1四半期	2016年9月期 第1四半期	増減	増減率	2016年9月期 通期予想 (修正)	通期予想 進捗率	2015年9月期 通期実績		
オペレーティング・リース事業 組成金額	621.7	1,308.6	686.8	110.5%	3,600.0	36.4%	2,973.4		
出資金 販売額	227.4	276.8	49.4	21.7%	1,010.0	27.4%	841.7		
	船舶	125.7	165.8	40.1				31.9%	439.5
	コンテナ	63.8	28.5	△35.2				△55.2%	167.1
航空機	37.8	82.3	44.5	117.6%	235.0				
購入社数 (累計)	398	516	118	29.6%			1,653		
タックス・リース・ アレンジメント事業 売上高	40.5	54.0	13.4	33.1%	162.5	33.2%	141.2		
手数料(売上高/出資金販売額) フルエクイティ案件を除く	17.8%	19.5%	1.7ポイント				16.8%		

■ タックス・リース・アレンジメント事業の状況

オペレーティング・リース事業 組成金額

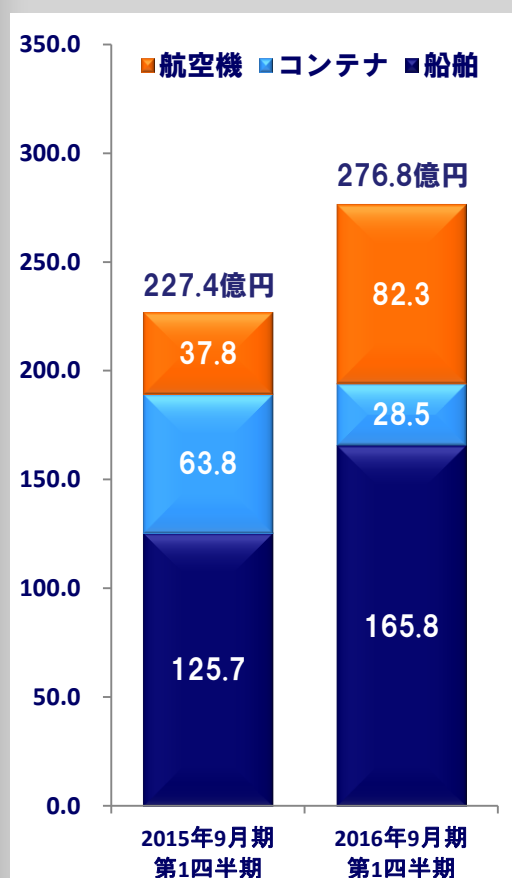
対前年同期比 110.5%増



* 案件数に関してはSPCの数をカウント

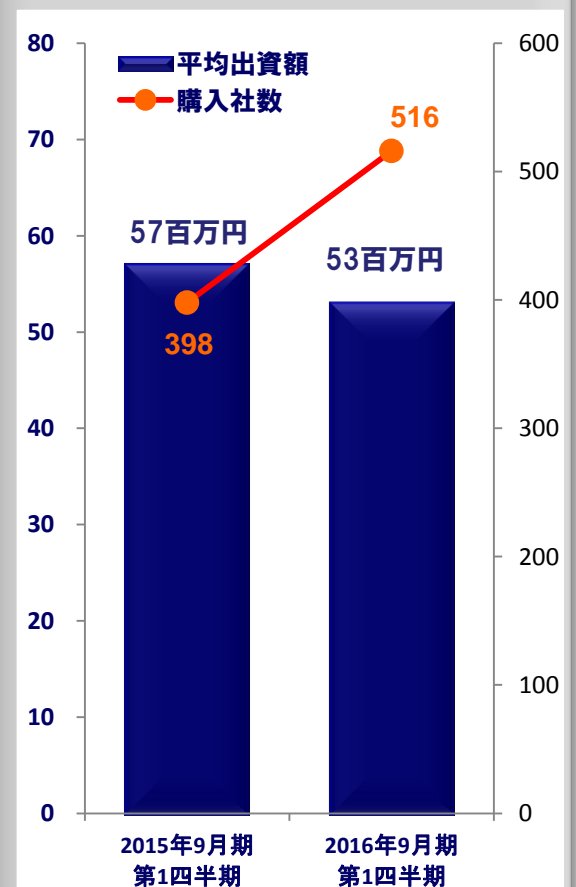
リース物件別出資金販売額

対前年同期比 21.7%増

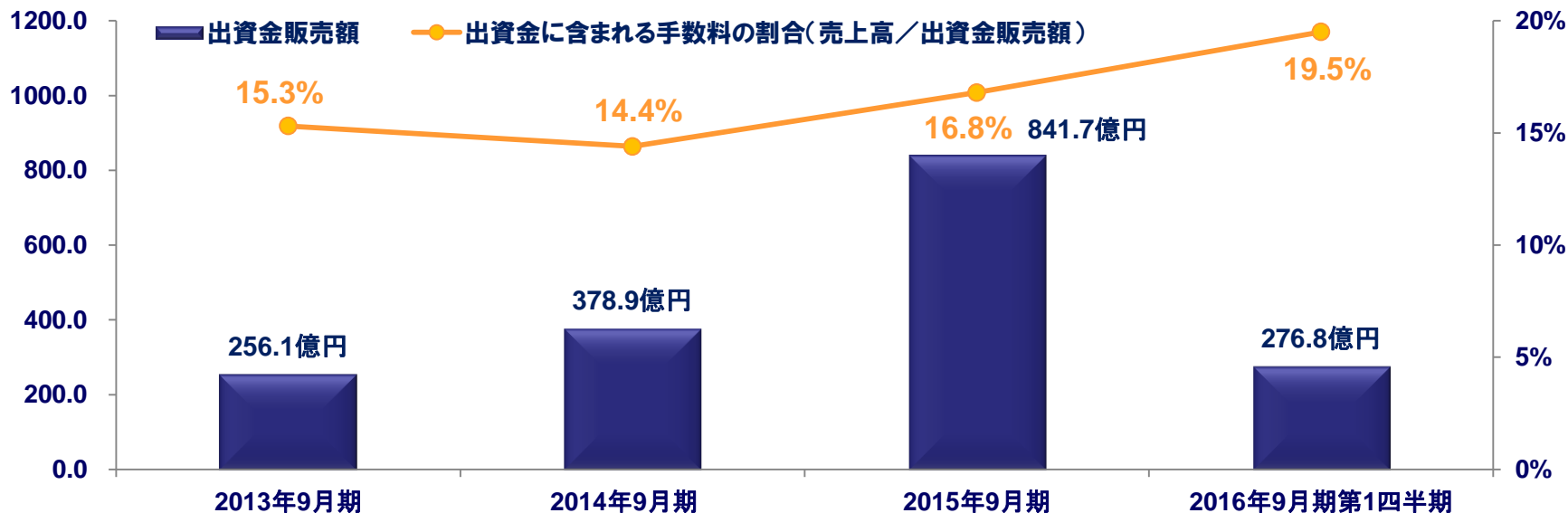


購入社数 (累計)/平均出資額

対前年同期比
118社増 / 4百万円減



■ 出資金に含まれる手数料について



(億円)	2013年 9月期	2014年 9月期	2015年 9月期	2016年 9月期 第1四半期
タックス・リース・アレンジメント 事業売上高	37.4	54.4	141.2	54.0
出資金販売額	256.1	378.9	841.7	276.8
出資金に含まれる手数料の割合 (売上高 / 出資金販売額)	15.3%	14.4%	16.8%	19.5%

出資金に含まれる手数料の推移

旺盛な投資家需要に応えるため、積極的に案件を組成。出資金に含まれる手数料については、直近数期において概ね14~15%台に推移しており、他の金融商品に比べ、高い収益性を維持している。なお、当第1四半期は高収益案件の販売により19.5%となった。第2四半期以降は例年と同様の水準になる予定。

財務ハイライト



2016年9月期 第1四半期 損益計算書

(億円)	2015年 第1四半期	2016年 第1四半期	増減	増減率
売上高	42.8	57.9	15.1	35.2%
売上原価	4.9	6.3	1.4	28.9%
売上総利益	37.9	51.6	13.6	36.0%
販売管理費	5.9	10.7	4.7	80.0%
営業利益	32.0	40.9	8.9	27.8%
営業外収益	2.0	2.3	0.3	16.6%
営業外費用	2.8	1.3	△1.4	△52.5%
経常利益	31.1	41.9	10.7	34.4%
特別損益	△0.0	△0.1	△0.0	-
税引前純利益	31.1	41.8	10.6	34.2%
法人税等合計	11.2	14.0	2.8	25.5%
親会社株主に帰属する (四半期) 当期純利益	19.9	27.5	7.5	38.0%

1 売上高 57.9億円 (+15.1億円) 単位:百万円
 タックス・リース・アレンジメント事業 5,400 (+ 1,343)
 不動産関連事業 132 (+ 65)
 保険仲立人事業 32 (△ 21)
 証券事業 58 (△ 11)
 航空機投資管理サービス (Amentum) 155 (-)

2 売上原価 6.3億円 (+1.4億円) 単位:百万円
 案件組成コスト 89 (+ 25)
 顧客紹介者への支払手数料 539 (+ 121)
 →タックス・リース・アレンジメント事業の売上が好調だったことから、顧客紹介に係る手数料が増加。

3 販売管理費 10.7億円 (+4.7億円) 単位:百万円
 業容拡大に伴う、積極的な人材採用、連結子会社の増加により、人件費、その他の費用が増加。
 *連結従業員数 前年同期末110名 → 当期末167名 (+57)
 人件費 524 (+ 253)
 のれん償却額 34 (+ 22)

4 営業外収益 2.3億円 (+0.3億円)
 リース開始後に商品出資金を販売した場合、経過分の利息を投資家(顧客)から徴収し、受取利息として計上している。案件組成の拡大に伴い、商品出資金の受取利息が増加。その他、関連会社に関する持分法による投資利益が増加。

5 営業外費用 1.3億円 (△1.4億円)
 資金調達は増加したものの、調達利回りが低下。一部の大口コミットメントライン契約の更新時期を1Qから前4Qに変更したため。

■ 2016年9月期 第1四半期 貸借対照表

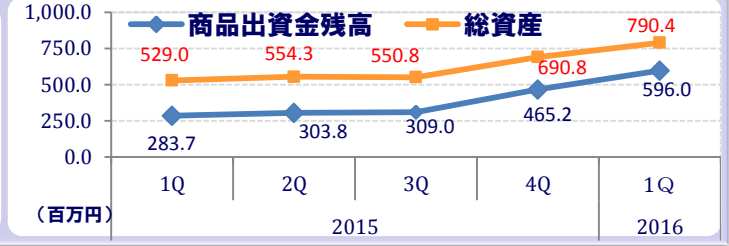
資産 (億円)	2015年9月期 期末	2016年9月期 第1四半期末	増減
流動資産	660.3	760.9	100.5
現金及び預金	73.8	81.1	7.3
商品出資金	465.2	596.0	130.8
組成用不動産	15.7	—	△15.7
その他 流動資産	105.5	83.6	△21.8
固定資産	29.9	29.0	△0.8
資産合計	690.8	790.4	99.6

負債 (億円)	2015年9月期 期末	2016年9月期 第1四半期末	増減
流動負債	500.3	624.3	124.0
短期借入金等	294.2	459.0	164.8
前受金	73.8	83.3	9.4
その他 流動負債	132.2	81.9	△50.3
固定負債	28.8	35.1	6.3
長期借入金・社債	26.6	33.0	6.4
その他 固定負債	2.1	2.1	△0.0
負債合計	529.1	659.5	130.3

純資産 (億円)	2015年9月期 期末	2016年9月期 第1四半期末	増減
資本金	30.8	30.8	—
資本剰余金	30.3	30.3	—
利益剰余金	99.5	103.9	4.4
自己株式	△0.0	△35.2	△35.2
為替換算調整勘定	0.1	△0.0	△0.1
純資産合計	161.7	130.9	△30.7
負債純資産合計	690.8	790.4	99.6

1 商品出資金 596.0億円 (+ 130.8億円)
 旺盛な投資家需要により、出資金の販売を進めたが、積極的に案件組成を行ったため、商品出資金は前期末残高から更に積み増し、第2四半期以降販売予定の出資金を確保。

商品出資金の
取得資金は
主にコミットメント
ライン融資枠等の
短期借入金で調達
(一時的な立替取得)



2 組成用不動産 0円 (△ 15.7億円)
 不動産小口運用商品2件を完売。不動産関連の新商品を準備中。

3 その他 流動資産 83.6億円 (△ 21.8億円)
その他 流動負債 81.9億円 (△ 50.3億円)
 証券事業の通貨関連店頭デリバティブ商品の提供に際し、顧客とデリバティブ取引契約を締結するとともに、カバー取引として金融機関とデリバティブ取引契約を締結。その結果、資産側にデリバティブ債権とカバー取引先への差入保証金、負債側にデリバティブ債務と顧客からの受入保証金を計上。為替変動等の影響によるデリバティブ取引の時価変動等のため、デリバティブ債権・債務、差入・受入保証金が減少。流動負債については、未払法人税等が20.6億円減少。

4 前受金 83.3億 (+ 9.4億円)
 当四半期末の商品出資金は更に在庫を積み増したため、前受金も増加。

5 長短借入金等 492.1億円 (+ 171.2億円)
 主に商品出資金の取得原資として資金調達が増加。

6 純資産合計 130.9億円 (△ 30.7億円)
 親会社株主に帰属する(四半期)当期純利益27.5億円を計上する一方で、前年度期末配当23.1億円を実施。自己株式35.2億円を取得。

2016年9月期 業績予想



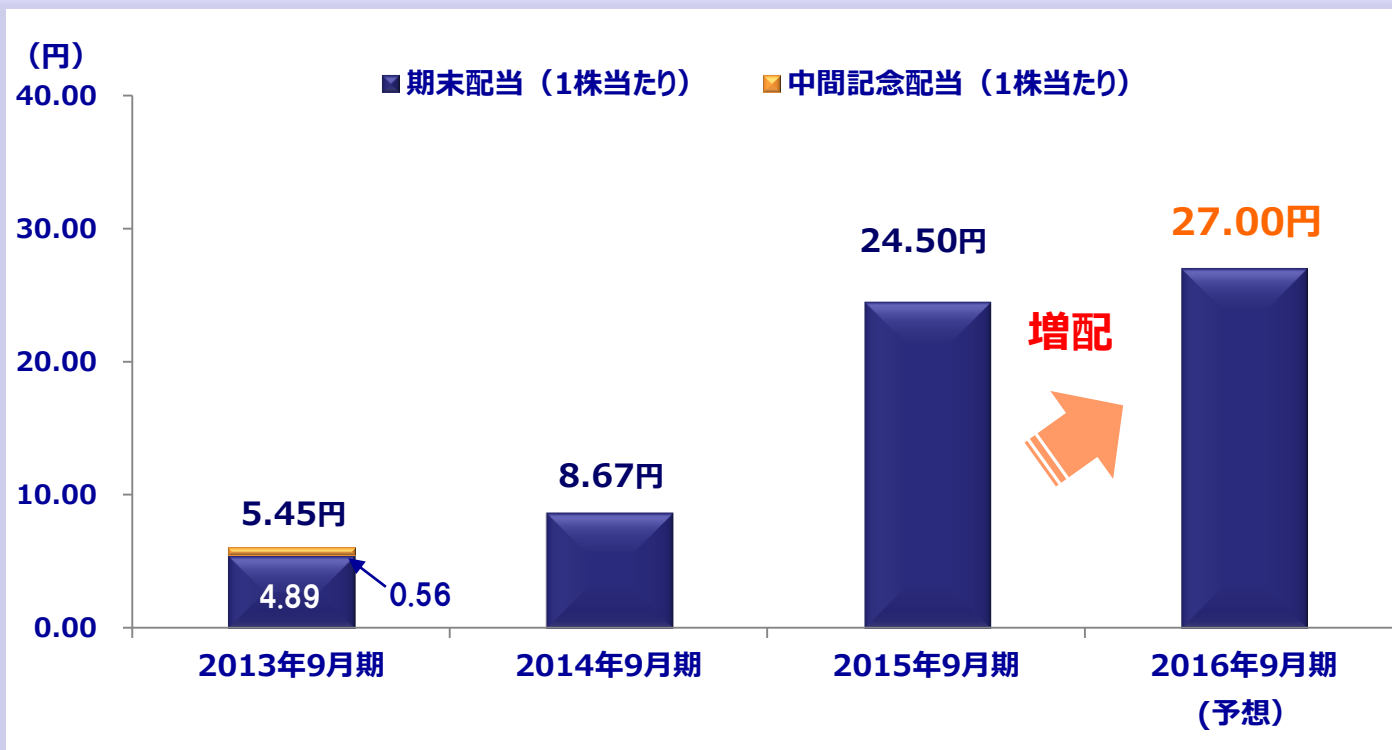
■ 2016年9月期 業績予想 (2016年1月29日付)

(億円)	2016年9月期 第1四半期実績	2016年9月期 上半期予想 (修正)	上半期予想 進捗率	2016年9月期 通期予想 (修正)	通期予想 進捗率
売上高	57.9	100.6	57.6%	182.7	31.7%
タックス・リース・ アレンジメント 事業	54.0	92.3	58.5%	162.5	33.2%
その他	3.9	8.2	48.1%	20.2	19.7%
営業利益	40.9	69.0	59.3%	121.3	33.7%
経常利益	41.9	69.3	60.5%	123.8	33.8%
親会社株主に帰属する (四半期)当期純利益	27.5	44.8	61.3%	79.1	34.8%
オペレーティング・リース 事業組成金額	1,308.6	—	—	3,600.0	36.4%
出資金販売額	276.8	—	—	1,010.0	27.4%

当社グループの売上高の大半を占めるタックス・リース・アレンジメント事業では、オペレーティング・リース事業の案件組成が好調に推移し、出資金の販売についても、投資家からの強い需要を背景に、計画を上回る水準で好調に推移しております。そのため、今後の見通しも踏まえ、2015年10月30日に公表した業績予想につきまして、2016年1月29日付で上記のとおり、修正することといたしました。

◆ 業績予想に基づき、基本方針に従い、増配を予想

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様への利益還元を重視し、安定した配当を継続して実施していくことを利益配分の基本方針とし、業績に応じた利益還元を実施すべく、目標連結配当性向を概ね30%以上に設定。2016年9月期の業績予想に基づき、2016年9月期配当は27.00円を予想。



(注1) 株式分割に伴う影響を加味し、遡及調整を行った数値を記載。

(注2) 2013年9月期の中間配当は東証1部上場に関する記念配当。

中期的な経営戦略の進捗



▶ 組成サポートを行う海外関係会社との連携強化

海外関係会社2社との連携強化による積極的な案件組成が業容拡大を推進

FPG Amentum Limited

航空機の管理から機体の売却までの一連の業務に関するマネジメント及びアドバイザリー・サービスを提供。昨年5月に連結子会社化。

■ 役割

- ・課税の繰り延べ効果のみならず、より一層のキャピタルゲインを狙うことのできるハイリスク・ハイリターン型の航空機JOL案件の組成サポート

所在地	アイルランド共和国ダブリン市
代表者	Jan Melgaard, Executive Chairman Martin Bouzaima, CEO Mitchel Simpson, CFO
事業内容	航空機投資管理サービス事業
資本金	500,000ユーロ
設立日	2005年11月29日

FPG Asset & Investment Management B.V.

持分法適用関連会社で、連結子会社2社（シンガポール、アラブ首長国連邦）を有する。船舶リース案件の飛躍的拡大は同社の貢献によるもの。

■ 役割

- ・国際的な海運会社、コンテナリース会社を対象に船舶・海上輸送用コンテナ等のリース案件を当社に独占的に紹介

所在地	オランダ王国ロッテルダム
代表者	Marcus Jung, Partner
事業内容	オペレーティング・リース事業の案件組成サポート
資本金	33,000ユーロ
設立日	2012年2月10日

▶ 不動産関連事業への更なる注力

2015年12月 海外不動産を対象にした新たな不動産投資商品の開発をスタート
不動産小口運用商品完売

■ 第二の収益源として注力

■ 継続的な不動産小口運用商品の組成・販売を目指す

- ・FPG信託と協業による信託機能を使った受益権化商品の開発
- ・個人富裕層ニーズを取り込むべく海外不動産投資商品の開発 等

▶ 信託契約代理業務の開始

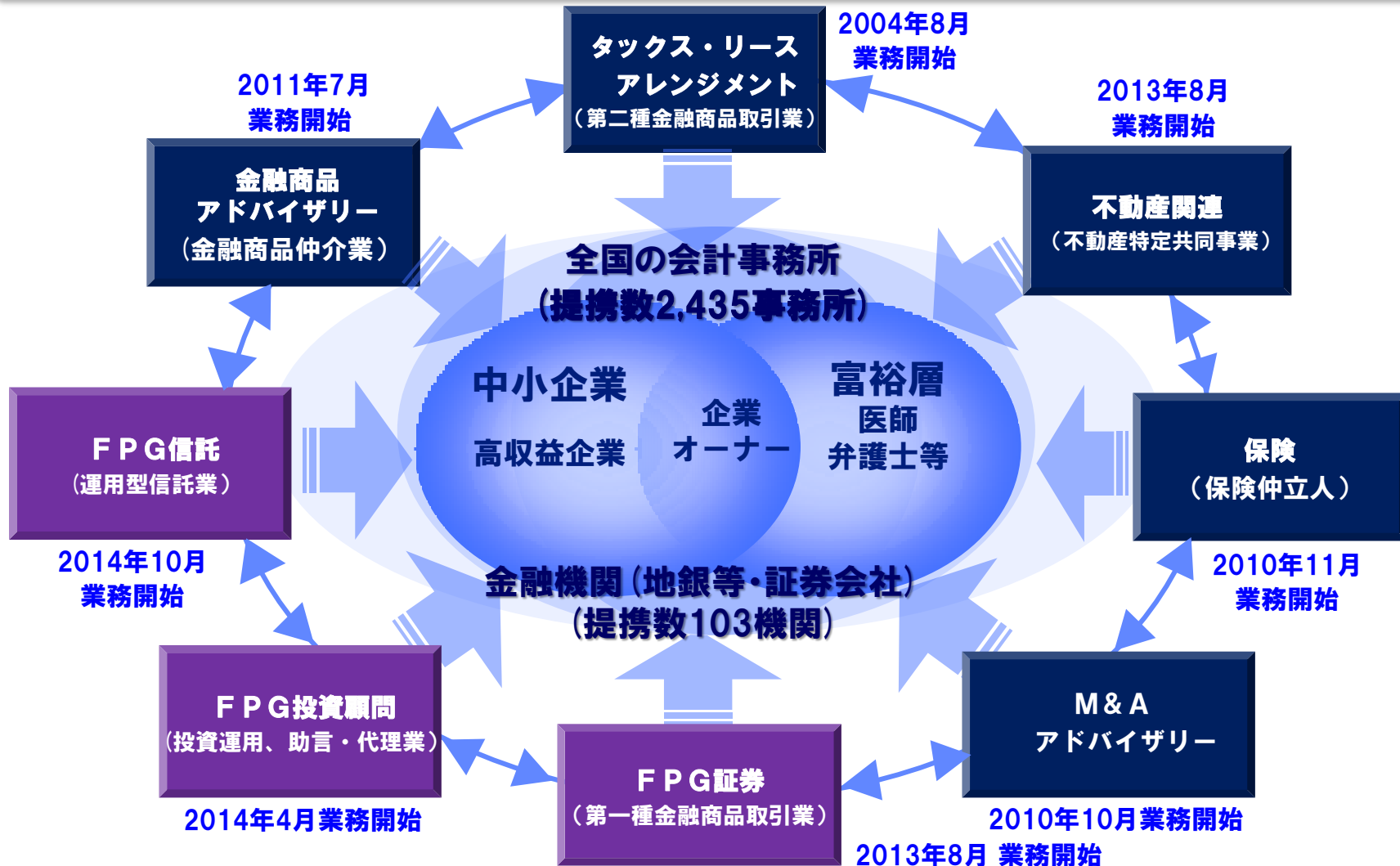
2015年12月 信託契約代理業務開始

■ 取扱信託商品

- ・自社株承継信託
- ・受益権複層化信託
- ・特定贈与信託（特定障害者扶養信託）
- ・特定金銭信託

■ 事業概略図 収益構造の多角化に向けた取組み

高収益なオーナー企業及び富裕層に対して、各種金融商品・サービスを提供するワンストップ型ファイナンシャルサービス業を目指す



- 本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社FPG（以下、弊社）の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。
- これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき弊社が判断した予測です。
- 本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

株式会社FPG IR担当

TEL (03) 5288-5691

URL <http://www.fpg.jp>